

新入会員の自己紹介 Vol.3

お前しかいない

岩国支部 河本 学会員



大阪の大学を卒業後、アパレルのチェーンストアに入社しました。販売職からのスタートでしたが、配属先の環境にも恵まれ、2年目にバイヤーになりました。最初は仕入先の在庫を各店に振り分けたり、店舗間で商品の振替指示をしたりのデスクワークですが、数年経験すると商品部門を一つ任され、20～40坪の店舗の商品構成を全て自分で決定することができました。ピーク時は年間100万点の商品を全て一人で発注していたので、業界のイメージと程遠い激務だった気がします。

「お前しかいない」と言われ、商品部門の責任者になりました。工場探しに中国縦断、新業態探しにアメリカ横断、次シーズン構想にオーストラリア視察、製品仕入れにソウル0泊2日など、出張の計画と報告、そして会議ばかりの日々になりました。その後、親会社の資本構成とともに経営陣もフルモデルチェンジとなりました。

「この会社には、お前しかいない」と言われ、今度は財務と経営計画策定の責任者になりました。簿記3級の頭で名だたる経営者の本を読み、取締役会や株主総会の事務局も担当し、経営計画書を金融機関に説明しに行ったものです。しかし、業績は悪化の一途で、中堅社員は辞めていくばかり。起死回生の切り札として、毎年度のように組織と配置転換をし、人心の一新を繰り返します。

「もう、お前しかいない」と言われ、再び商品部門の責任者になりました。その後も業績は回復せず、希望退職者募集に手を挙げ、岩国へと戻りました。21年ほど勤めて、幅広い経験と何でもできそうな自信が財産となりました。帰郷後に勤めた会社も3年で廃業してしまい、適職が見つからないままコロナ禍へ。ペーパードライバーでしたが宅配ドライバーの契約社員を本業にして、非正規雇用のトリプルワーカーとなりました。

51歳の時に、低投資で開業でき、様々な分野で社会貢献につながる仕事を、しかも定年なく長く続けられる行政書士業の存在を知りました。人目を憚らず勉強して52歳で合格、1年間は実務学習と開業準備をして53歳で開業しました。【カネなし、コネなし、人脈なし】からの初年度スタートでしたが、ありがたく複数件の受任もできました。支部の先輩方、同期の仲間にも懇意にいただき、とても感謝しています。

「かわもと先生しかいない」そんな行政書士になれるよう尚一層努力してまいります。

